



令和5年3月10日

株式会社メディアシーク

代表取締役社長 西尾 直紀
(コード番号:4824 東証グロース)
問合せ先 取締役業務管理部長
根津 康洋
(TEL 03-5423-6600)

各 位

投資有価証券評価損(営業外費用)の計上及び

第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、令和5年7月期第2四半期決算において、投資有価証券評価損を営業外費用として計上しましたので、下記の通りお知らせします。また、令和4年9月9日に公表いたしました令和5年7月期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)の第2四半期(累計)業績予想と実際の業績に差異が発生しましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上について

当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べ時価が著しく下落しているものについて評価した結果、投資有価証券評価損 41 百万円を営業外費用として計上することといたしました。なお、投資有価証券評価損は、連結、個別ともに発生いたします。

2. 令和5年7月期第2四半期(累計)連結業績予想との差異 (令和4年8月1日～令和5年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	421	0	2	0	0.00
今回実績(B)	421	26	35	26	2.67
増減額(B-A)	0	26	33	26	—
増減率(%)	0.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (令和4年7月期第2四半期)	449	52	86	73	7.59

3. 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間において、売上高は概ね当初の予想通りに推移した一方で、効率的に事業を展開できたため外注費及び諸経費等の費用の発生額が予想に対して発生しなかった事に伴い営業利益の計上額が連結業績予想を上回ることになりました。これに加え、投資有価証券損が発生した一方で、これを上回る受取利息、受取配当金及び投資有価証券売却益が計上されたことにより、当初予想額を上回る投資運用益を計上することとなり、結果として、連結業績予想を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益及び1株当たり四半期純利益を計上する事となりました。

なお、上記変更を踏まえ、令和4年9月9日公表の令和5年7月期通期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)の連結業績予想の数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注)本業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づき作成しております。本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上